システム構成図の見方について

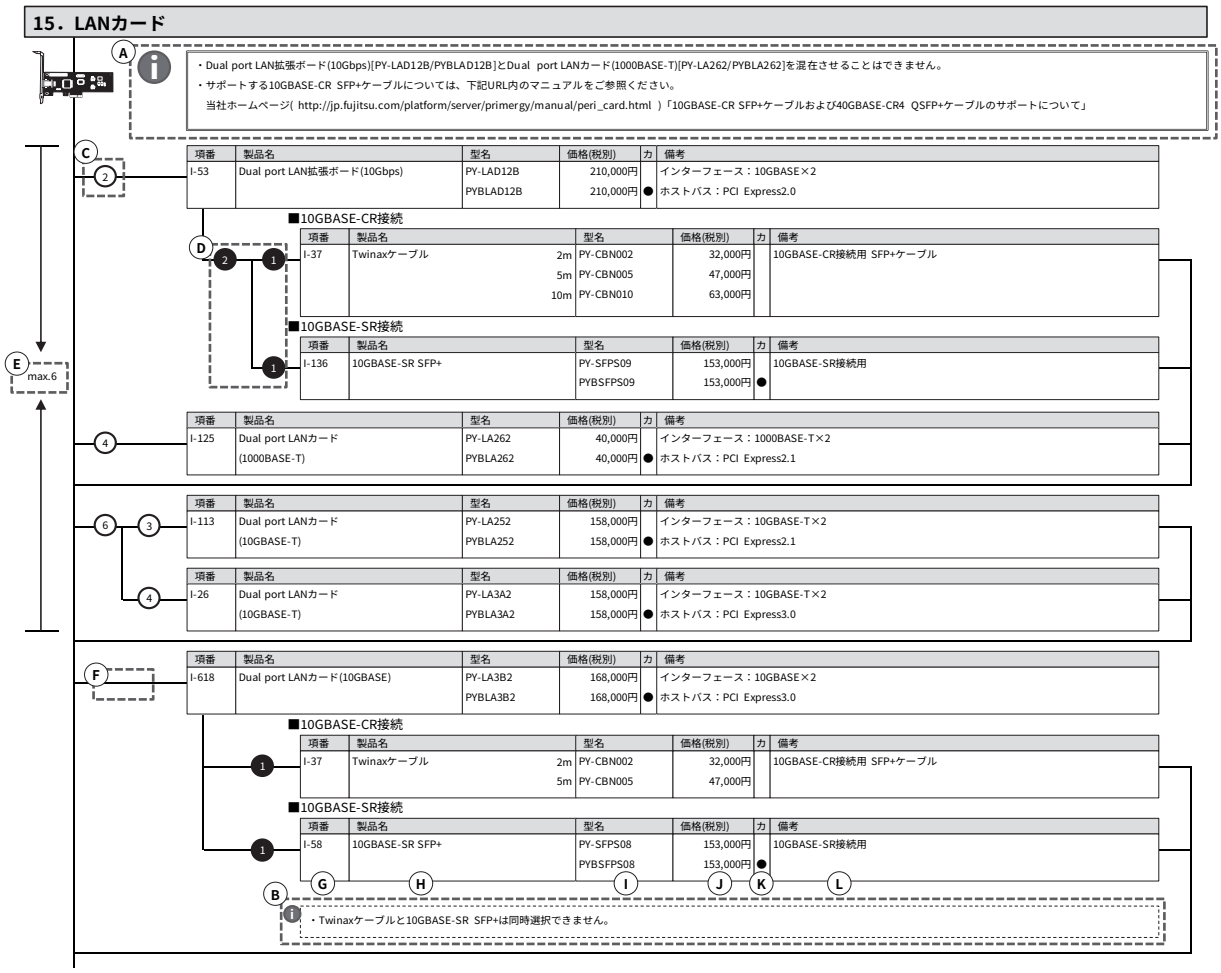
1.《サーバ本体　樹系図(本体編)》にて、本体仕様および接続構成を確認します。
- 樹系図を最初のページから順に辿ると、一通りの構成が組めるようになっています。
- 樹系図の途中に、注意事項を記載している箇所がありますので、必ず参照ください。
- 樹系図内にて使用する記号については、「樹系図の見方」を参照ください。

2.《留意事項編》にてメモリや内蔵ストレージの搭載条件、注意事項を確認します。

3.《ハードウェア一覧》にて対応OS、提供時期、製品概要を確認します。

樹系図の見方

※下記の樹系図は例です。実際の製品構成とは異なります。



■樹系図内にて使用する記号について

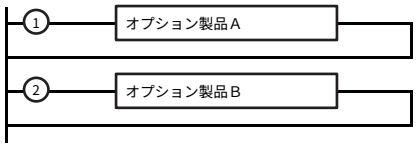
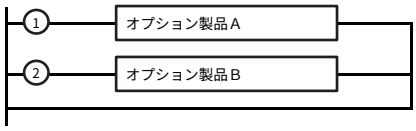
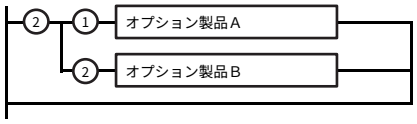
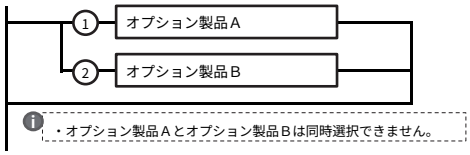
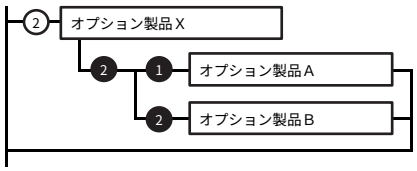
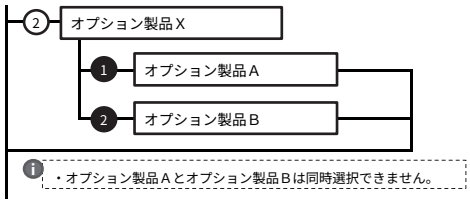
No.	記号	内容
A	インフォメーション(大)	お使いになるときに注意していただきたいことを記述しています。必ずお読みください。 システム全体および各分類で共通の注意事項を記載しています。
B	インフォメーション(小)	オプション製品固有の注意事項や、参考情報等を記述しています。必ずお読みください。
C	丸付き数字(白) ⑨	システムに対するオプションの搭載可能数を表しています。 上記例では、以下となります。 ・Dual port LAN拡張ボード(10Gbps)[PY-LAD12B/PYBLAD12B]はシステムに対して2枚搭載可能。
D	丸付き数字(黒) ❾	親に位置するオプション製品に対する搭載可能数を表しています。 上記例では、以下となります。 ・Dual port LAN拡張ボード(10Gbps)[PY-LAD12B/PYBLAD12B]1枚選択時、Twinaxケーブル[PY-CBN002/PY-CBN005/PY-CBN010]および10GBASE-SR SFP+[PY-SFPS09/PYBSFPS09]はそれぞれ1枚、合計で2枚搭載可能。 ・Dual port LAN拡張ボード(10Gbps)[PY-LAD12B/PYBLAD12B]2枚選択時、Twinaxケーブル[PY-CBN002/PY-CBN005/PY-CBN010]および10GBASE-SR SFP+[PY-SFPS09/PYBSFPS09]はそれぞれ2枚、合計で4枚搭載可能。
E	max.*	max.* はオプション混在時の合計の搭載可能数を表しています((丸付き数字)で表現できない場合)。 上記例では、以下となります。 ・Dual port LAN拡張ボード(10Gbps)[PY-LAD12B/PYBLAD12B]およびDual port LANカード[PY-LA262/PYBLA262/PY-LA252/PYBLA252/PY-LA3A2/PYBLA3A2/PY-LA3B2/PYBLA3B2]を混在した場合、合計6枚搭載可能。
F	なし	オプションの搭載数制限なし。

■オプション製品について

No.	項目名	内容
G	項番	オプションの項番号です。 ハードウェア一覧の 「項」 と対応しています。
H	製品名	オプションの製品名です。
I	型名	オプションの型名です。 型名には、「PY-」ではじまる一般型名(別梱包で出荷)と、「PYB」ではじまるカスタムメイド型名(本体内蔵/同梱出荷)があります。 一般型名は増設専用の型名になります。 カスタムメイド型名は本体と同時手配となります。詳細は留意事項編の「カスタムメイド出荷について」を参照ください。
J	価格	オプションの価格です。 本システム構成図に掲載されておりますPRIMERGY本体等の価格体系につきましては、市場の実勢価格に近く、 お客様にわかりやすい「希望小売価格」となっております。 また、「標準価格」で提供している商品につきましては、本システム構成図では★で表示してあります。
K	カ	型名が一般型名かカスタムメイド型名かを表しています。 ●と記載されている型名がカスタムメイド型名、表示なしの型名が一般型名となります。
L	備考	オプションの仕様、注意事項等が記載されています。 詳細な製品概要については、ハードウェア一覧を参照ください。

■接続線の見方

・接続線は上から下、左から右に辿ります。
・オプション製品の混在可および混在不可については下記のように記載しています。
※接続線で混在不可が表せない場合は、インフォメーション等に明記しています。

混在可の場合	混在不可の場合
 オプション製品Aは1個、オプション製品Bは2個搭載可能です。 合計で3個搭載可能です。	 オプション製品Aは1個、オプション製品Bは2個、どちらか搭載可能です。
 オプション製品Aは1個、オプション製品Bは2個、それぞれ合計で2個搭載可能です。	 オプション製品Aは1個、オプション製品Bは2個、どちらか搭載可能です。
 オプション製品Ｘ１個に対して、オプション製品Ａは1個、オプション製品Ｂは2個、 合計で2個搭載可能です。	 オプション製品Ｘ１個に対して、オプション製品Ａは1個、オプション製品Ｂは2個、 どちらか搭載可能です。